

令和6年度 三宅地区（三宅村・御蔵島村）校長会

1 活動方針・重点事項等

東京都三宅支庁の所管する自治体は三宅村(人口約2,200人)と御蔵島村(人口約300人)の2村である。管内には公立学校5校(三宅島に保育園1園、小学校、中学校、高等学校が各1校、御蔵島に保育園1園、併設の小中学校1校)がある。そのうち、小学校2校で校長会を組織し、中学校長会と合同で諸事業を行っている。三宅島と御蔵島は、隣接しているとはいえ各校が集まるのは交通事情から困難もあるが、月1回行われる東京都教育庁三宅出張所主催の校長連絡会には、都立三宅高等学校長、各村教育委員会も参加し、協議・情報交換を行っている。

2 活動・取組

(1) 会長 廣瀬 京子(御蔵小中)：会計担当 ・都幹事 堀 俊司(三宅小)：人権担当

(2) 小・中・高等学校長による連絡協議会

東京都教育庁三宅出張所主催の校長連絡会の際に全校長が参集するので、教育課程の実施状況や教員の資質向上、今日的教育課題、児童・生徒の生活指導上の諸課題などについて幅広く協議・情報交換を行っている。また、中・長期的展望に基づく島しょ教育の充実の在り方について、予算要望なども含めて教育委員会への提言を積極的に行っている。

(3) 都小校長会の代表校長連絡会などへの出席

都内及び船中泊が必要であり、最短でも往復に3日間掛かる交通事情のため、出席できないことも多いが、教育の最新の動向や、他地区の状況を知ることができる貴重な場であるので、極力出席するよう努めている。

(4) 島しょ校長会、都へき地教育研究会などへの参加

主に長期休業中の活動であるため、基本的に全校長が参加している。

(5) 保小中高一貫教育の充実

三宅島校長会が、昭和49年度より三宅教育研究会を発足し、三宅村保育園、三宅小学校、三宅中学校、三宅高等学校による保小中高一貫教育推進委員会を設置し、保育園から高等学校までの接続を円滑にすることを目的として協議、研究を行う。年間7回実施する。

(6) 経営研修

人材育成を図るため、校長職候補者、教育管理職候補者、4級職、主任教諭等の選考に向けた研修会を実施している。教育長講話、副所長講話、個別の論文指導・面接指導等を行う。

(7) 学校組織マネジメント研修

校長、副校長、主幹教諭を対象に、「学校組織マネジメントの基礎、危機対応とリスクマネジメント、人材育成・教員のメンタルヘルスについて実施している。

3 特色・特徴等

三宅島では5月に小・中合同運動会を実施、御蔵島でも5月に小中学校運動会を実施する。多数の保護者、村民が参観している。9月に御蔵島小の4年生が三宅小学校で体験学習を行い、交流する。

4 課題

多くの教職員が3年で異動することから、教育課程の継続性を確保することに特に留意している。また、異動年度に偏りが生じると、年によって半数以上の教職員が異動することがあり、これを改善していくよう配慮している。